

試験日 : 2025年2月22日

入試種別 : 大学院(修士課程)入学試験

学部・研究科: 政策学研究科

科目名 : 政治学

(採点又は評価のポイント)

基本的な政治学のテーマについて、学部レベルの政治学の基礎的素養が身についているのかを確認する。

(1) 日本の若者の他の世代と比較した場合の投票率の低さはなぜなのかを問う問題を出題した。若者の投票率が低いと言われるが、その理由について、受験者の世代の認識を問おうとした。日常的に新聞を読み、政治について基礎的な問題意識があれば解答可能な設問ではないかと考えての出題であった。

(2) R. ダールの「ポリアーキー」の説明を求める問題を出題した。ダールのポリアーキー論は民主主義を考える際の政治学の基本知識であることから、大学学部レベルの政治学を履修していれば、解答可能ではないかと考え、出題した。

(3) 選挙制度のうち、「小選挙区制」と「比例代表制」の違いを説明させる問題を出題した。選挙に行った経験があれば、解答可能であるし、選挙に行った経験がなくとも、日常的に新聞を読んでいるならば解答可能な問題である。そのうえで、憲法学、政治学、行政学などの授業を受講して入ればかならず触れるテーマであると考え、出題した。

上記の3点の問題は、学部レベルの政治学を履修していれば十分解答可能な内容であること、政治学を履修していなくとも新聞をよく読んでいれば合格点をとれることを念頭においた出題となるよう意識したものである。

採点にあたっては、十分な記述量があること、正確な用語が用いられていること、誤字脱字等がないこと、大学卒業程度の十分な基礎教養が備わっていること、論旨が明確であり記述に矛盾が見られないこと、論文執筆の基礎的素養があることなどを重視した。